

平成19年度 産業機械の受注見通し

平成19年2月
社団法人日本産業機械工業会

平成18年度のがわが国経済は、緩やかな拡大を続け、いざなぎ景気を超える戦後最長の回復局面となった。世界経済が地域的な広がりを行いながら拡大する中で、輸出が増加し、また、企業収益が高水準を続け、設備投資も堅調に推移した。そのような情勢の下、産業機械（当工業会取扱いの）平成18年度受注見込み及び平成19年度受注見通しを以下のとおり策定した。

（平成18年度の受注見込み）

内需は、官公需の厳しい状況が続くものの、民需が製造業、非製造業とも総じて堅調に推移していることから、前年度を上回る見込みである。官公需は、中心となる環境装置の受注環境に改善が見られないことから前年度を下回る見込みである。一方、民需は多くの需要部門で高水準な受注が続いており、特に紙・パルプや化学、一般機械、電気機械、情報通信機械、自動車、電力、運輸等が堅調に推移していることから、内需全体では、対前年度比4.4%増の3兆5,120億円と見込んだ。

外需は、アジアやヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ向けを中心に需要が拡大しており、多くの機種が前年度を上回ると見込んでいるものの、前年度に天然ガス関連の大口径契約を複数確保した反動から中東向けが大幅に減少していることから、外需全体では、対前年度比2.9%減の2兆6,433億円と見込んだ。

この結果、平成18年度の産業機械受注総額は、対前年度比1.2%増の6兆1,554億円と見込んだ。

（平成19年度の受注見通し）

内需は、経済のグローバル化が進む中で、企業が海外市場での需要増大を意識した投資行動をとっていること、また、設備投資の積極化が製造業から非製造業へ、大企業から中小企業へとより広範囲に波及していることから、今まで以上に多くの業種で需要が拡大するとみて、民需主導の増加基調が続くと予想する。ただし、素材産業からの大型投資は一服するとみて、受注金額は高水準が続くものの伸び率は前年度までに比べ鈍化すると思われる。なお、内需のうち厳しい状況が続く官公需も、税収の改善を受け、計画を延期している環境装置の新設や改修が実施されることを期待し、下げ止まりから前年並み、若しくは若干の増加を期待している。以上により、内需全体では、対前年度比2.0%増の3兆5,832億円と見通した。

外需は、アジアを中心に地域的な広がりを伴いながら、緩やかな増加が続くと見込んでいる。特に、中国を始めとする新興諸国での市場拡大を背景に、更なる需要増を予想している。ただし、天然ガス関連のプラント建設が集中している中東向けは、エネルギー需要が旺盛であることから今年度も1,000億円超の大型プロジェクトの確保を期待するものの、受注金額が高水準を続けていることから、若干の減少を想定した。以上により、外需全体では、対前年度比2.4%増の2兆7,080億円と見通した。

この結果、平成19年度の産業機械受注総額は、対前年度比2.2%増の6兆2,913億円と見通した。

1. ボイラ・原動機

平成18年度 受注見込み

内需は、主力の電力向けの増加に加え、紙・パルプ、化学、窯業土石、鉄鋼、一般機械、自動車向け等の多くの需要先で増加していることから、対前年度比115.0%の9,201億円と見込んだ。

外需は、中東、ヨーロッパ、北アメリカ向けの増加により、対前年度比120.0%の6,211億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比117.0%の1兆5,412億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、主力となる電力向けでの大幅な増加は期待しがたいものの、前年度並みの更新需要を予想し、また、製造業を中心としたその他の需要先についても、重油から天然ガスへの燃料転換に伴う更新需要により前年度までの高水準が持続するとみて、内需全体ではほぼ前年度並みとなる対前年度比100.0%の9,201億円と見通した。

外需は、世界的な電力需給の逼迫に加え、環境保護を重視した設備への更新・新設に伴う需要拡大により、アジア、中東、ヨーロッパ向けを始め多くの地域で増加を予想し、対前年度比110.0%の6,832億円と見通した。

内外総合では、対前年度比104.0%の1兆6,034億円と見通した。

2. 鉱山機械

平成18年度 受注見込み

内需は、鉱業、建設向けの減少に加え、窯業土石向けも高水準ながら前年を下回っていることから、対前年度比85.0%の271億円と見込んだ。

外需は、主力となるアジア向けが前年度の大幅増した反動から減少しており、対前年度比70.0%の102億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比80.3%の374億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、設備の合理化や能力増強により窯業土石向けを中心に受注件数の増加を期待するものの、投資規模は前年度に比べ若干縮小すると予想し、対前年度比95.0%の257億円と見通した。

外需は、高水準を続けているアジアを中心とした資源開発等による需要が、設備投資の一巡もあって微減すると予想し、前年度比97.5%の100億円と見通した。

内外総合では、対前年度比95.7%の358億円と見通した。

3. 化学機械（冷凍機械、環境装置のうち大気汚染防止装置と水質汚濁防止装置を含む）

平成18年度 受注見込み

内需は、官公需向けが前年度を大きく下回っているものの、化学、石油製品、電力、その他非製造業（ガス業を含む）向け等を始めとする民需の殆どの需要先が前年度を上回っていることから、対前年度比102.5%の9,910億円と見込んだ。

外需は、プラント・単体機械ともに好調さが持続しているものの、前年度に天然ガス関連のプラント等の大口契約を複数受注した反動減を補うまでには至らず、地域的には、アジア、ヨーロッパ、北アメリカ向けが増加するものの、中東向けが減少しており、対前年度比80.0%の1兆1,222億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比89.2%の2兆1,133億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、官公需向け環境装置の厳しい状況が続くものの、民需での石油、石油化学業界や自動車、IT業界での能力増強、環境保全の投資拡大を期待し、対前年度比102.5%の1兆158億円と見通した。

外需は、アジア、中東向けを中心とした化学プラントや天然ガス関連プラント等の需要は衰えないとみて、プラントの受注件数は前年度を上回ると予想するが、受注金額の水準が平成17年度、平成18年度と非常に高い値となっていることから、前年度比では減少するとみて、対前年度比95.0%の1兆661億円と見通した。

内外総合では、対前年度比98.5%の2兆819億円と見通した。

4. タンク

平成18年度 受注見込み

内需は、化学、石油製品、電力向けの増加により、対前年度比127.5%の180億円と見込んだ。

外需は、アジア、中東向けが減少し、対前年度比70.0%の405億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比81.3%の586億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、天然ガスの新規導入を計画する電力・ガス業界での需要拡大を予想し、対前年度比105.0%の189億円と見通した。

外需は、アジアの新興諸国を中心とした天然ガス受け入れ基地の建設が引き続き堅調に推移すると予想し、対前年度比110.0%の445億円と見通した。

内外総合では、対前年度比108.5%の635億円と見通した。

5. プラスチック加工機械

平成18年度 受注見込み

内需は、金属製品、情報通信機械向けで増加がみられるものの、化学、一般機械、自動車向けの減少により、対前年度比95.0%の874億円と見込んだ。

外需は、ヨーロッパ、北アメリカ向けで増加が見られるものの、主力のアジア向けや、前年度に大幅増した中東向けの減少により、対前年度比95.0%の1,097億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比95.0%の1,972億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、高水準の受注を続けていた中・小型機では需要がやや一服し若干の減少を予想するものの、大型機が比較的堅調に推移するとみて、需要先ではIT、自動車業界を中心に底固く推移すると予想し、対前年度比100.0%の874億円とほぼ前年度並みを見通した。

外需は、アジア、北米向けの増加を予想し、特に需要の中心となるアジア向けは、高水準となっている中国向けがやや頭打ちとなるものの、新興諸国の市場が徐々に拡大するとみている。外需全体では、対前年度比105.0%の1,152億円と見通した。

内外総合では、対前年度比102.8%の2,026億円と見通した。

6. ポンプ

平成18年度 受注見込み

内需は、石油製品、鉄鋼、情報通信機械、自動車、造船、電力、運輸向けの増加により民需が前年度を上回ると見込むものの、ウエイトの高い官公需向けが大幅に減少していることから、対前年度比90.0%の2,276億円と見込んだ。

外需は、アジア、中東向けの増加により、対前年度比112.5%の1,043億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比96.0%の3,320億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、官公需向けの減少が続くと思われるが、製造業向けを中心に民需が堅調に推移するとみて、全体としては官公需の減少を民需が補う形でほぼ前年度並みの、対前年度比100.0%の2,276億円と見通した。

外需は、アジア、中東向けを中心に、石油化学、天然ガス関連設備等のプラント建設による需要が引き続き堅調に推移すると予想し、対前年度比105.0%の1,095億円と見通した。

内外総合では、対前年度比101.6%の3,372億円と見通した。

7. 圧縮機

平成18年度 受注見込み

内需は、化学、石油製品、鉄鋼、一般機械、自動車、電力向け等の増加により、対前年度比125.0%の1,626億円と見込んだ。

外需は、アジア、中東、南アメリカ、アフリカ向けの増加により、対前年度比150.0%の1,741億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比136.8%の3,368億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、前年度に引き続き、製造業を中心とした多くの需要先で堅調に推移すると予想し、対前年度比110.0%の1,789億円と見通した。

外需は、アジア、中東向けを中心に、石油化学、天然ガス関連設備等のプラント建設による需要が引き続き堅調に推移すると予想し、対前年度比115.0%の2,003億円と見通した。

内外総合では、対前年度比112.6%の3,792億円と見通した。

8. 送風機

平成18年度 受注見込み

内需は、官公需向けが減少しているものの、紙・パルプ、鉄鋼、自動車、電力、運輸向け等の民需の増加により、対前年度比102.5%の235億円と見込んだ。

外需は、アジア、中東向けの増加により、対前年度比110.0%の40億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比103.5%の275億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、官公需向けの厳しい状況が続くものの、民需での設備更新による需要が堅調に推移するとみて、対前年度比102.5%の240億円と見通した。

外需は、前年度に引き続き、アジア、中東向けを中心とした需要が持続するとみて、対前年度比102.5%の41億円と見通した。

内外総合では、対前年度比102.5%の281億円と見通した。

9. 運搬機械

平成18年度 受注見込み

内需は、前年度に大幅な増加となった鉄鋼、自動車、造船、卸・小売向けが減少しているものの、紙・パルプ、一般機械、電気機械、電力向けの増加により、対前年度比102.5%の2,678億円と見込んだ。

外需は、アジア、中東向けの増加により、対前年度比105.0%の1,455億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比103.4%の4,133億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、自動車、IT、物流業界向けの物流システムが堅調に推移し、またクレーン等も鉄鋼、造船向けで底固く推移するとみて、対前年度比102.5%の2,745億円と見通した。

外需は、IT、自動車等の製造工場の海外への進出が堅調であることから、物流システムの需要増を期待し、また、クレーン等もアジア向けを中心に増加するとみて、対前年度比105.0%の1,528億円と見通した。

内外総合では、対前年度比103.4%の4,273億円と見通した。

10. 変速機

平成18年度 受注見込み

内需は、窯業土石、その他輸送機械向けの大幅増に加え、石油製品、電気機械、情報通信機械、電力向け等、民需の多くの需要先が増加し、対前年度比105.0%の564億円と見込んだ。

外需は、アジア、北アメリカ向けの増加により、対前年度比105.0%の158億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比105.0%の723億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、前年度に引き続き、製造業の好調な設備投資意欲と製品輸出の増加に支えられ、大型機から中・小型機まで幅広く増加すると予想し、対前年度比105.0%の592億円と見通した。

外需は、主力のアジア、北米向けが堅調に推移するとみて、対前年度比110.0%の174億円と見通した。

内外総合では、対前年度比106.1%の767億円と見通した。

11. 金属加工機械

平成18年度 受注見込み

内需は、主力となる鉄鋼向けが、前年度に大型物件を複数確保していた反動により減少していることから、対前年度比80.0%の902億円と見込んだ。

外需は、アジア、中東、ヨーロッパ、北アメリカ向けの増加により、対前年度比140.0%の1,131億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比105.0%の2,033億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、製鉄、非鉄ともに生産能力の増強や高品質化に伴う更新需要が底固く推移すると予想し、対前年度比105.0%の947億円と見通した。

外需は、アジア向けを中心に製鉄機械の需要は引き続き堅調に推移することを期待するが、一方では鉄鋼市場価格の低下に伴い投資意欲が前年度に比べ弱くなる可能性もあるので、対前年度比100.0%の1,131億円と見通した。

内外総合では、対前年度比102.2%の2,078億円と見通した。

12. その他産業機械（業務用洗濯機、メカニカルシール等を含むが、中核をなすのは官公需向けごみ処理装置である。）

平成18年度 受注見込み

内需は、官公需向け都市ごみ処理装置の新設が非常に少なく低水準となっているが、維持・修繕の受注が下支えし大幅な減少になっていないこと、また、民需を中心とする事業系廃棄物処理装置が増加していることから、対前年度比102.5%の6,398億円と見込んだ。

外需は、アジア、ヨーロッパ向けの増加により、対前年度比110.0%の1,822億円と見込んだ。

内外総合では、対前年度比104.1%の8,220億円と見込んだ。

平成19年度 受注見通し

内需は、公共投資の縮減が続く中、官公需向け都市ごみ処理装置が大幅に増加することは期待しがたいものの、設備の老朽化や市町村合併が一段落したことによる計画の進展等による発注量の回復を期待、また、事業系廃棄物処理装置もリサイクル関連投資が底固く推移するとみて、対前年度比102.5%の6,558億円と見通した。

外需は、中国でのオリンピック、万博に備えた環境整備やEUのごみ埋立規制による需要増を予想し、対前年度比105.0%の1,913億円と見通した。

内外総合では、対前年度比103.1%の8,471億円と見通した。

平成19年度 産業機械機種別受注見通し

社団法人日本産業機械工業会

(単位 金額:百万円)

| 機種 | 平成17年度実績 | | | 平成18年度見込み | | | 対前年度比 | | | 平成19年度見通し | | | 対前年度比 | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|--------|
| | 内需 | 外需 | 計 | 内需 | 外需 | 計 | 内需 | 外需 | 計 | 内需 | 外需 | 計 | 内需 | 外需 | 計 |
| ボイラ・原動機 | 800,109 | 517,635 | 1,317,744 | 920,125 | 621,162 | 1,541,287 | 115.0% | 120.0% | 117.0% | 920,126 | 683,279 | 1,603,405 | 100.0% | 110.0% | 104.0% |
| 鉱山機械 | 31,948 | 14,692 | 46,640 | 27,156 | 10,284 | 37,440 | 85.0% | 70.0% | 80.3% | 25,799 | 10,028 | 35,827 | 95.0% | 97.5% | 95.7% |
| 化学機械 | 966,902 | 1,402,797 | 2,369,699 | 991,075 | 1,122,238 | 2,113,312 | 102.5% | 80.0% | 89.2% | 1,015,852 | 1,066,126 | 2,081,978 | 102.5% | 95.0% | 98.5% |
| タンク | 14,180 | 57,905 | 72,085 | 18,080 | 40,534 | 58,613 | 127.5% | 70.0% | 81.3% | 18,984 | 44,587 | 63,571 | 105.0% | 110.0% | 108.5% |
| プラスチック加工機械 | 92,087 | 115,502 | 207,589 | 87,483 | 109,727 | 197,210 | 95.0% | 95.0% | 95.0% | 87,483 | 115,214 | 202,697 | 100.0% | 105.0% | 102.8% |
| ポンプ | 252,944 | 92,770 | 345,714 | 227,650 | 104,366 | 332,016 | 90.0% | 112.5% | 96.0% | 227,650 | 109,585 | 337,235 | 100.0% | 105.0% | 101.6% |
| 圧縮機 | 130,118 | 116,121 | 246,239 | 162,648 | 174,182 | 336,829 | 125.0% | 150.0% | 136.8% | 178,913 | 200,309 | 379,222 | 110.0% | 115.0% | 112.6% |
| 送風機 | 22,933 | 3,638 | 26,571 | 23,506 | 4,002 | 27,508 | 102.5% | 110.0% | 103.5% | 24,094 | 4,102 | 28,196 | 102.5% | 102.5% | 102.5% |
| 運搬機械 | 261,289 | 138,643 | 399,932 | 267,821 | 145,575 | 413,396 | 102.5% | 105.0% | 103.4% | 274,517 | 152,854 | 427,371 | 102.5% | 105.0% | 103.4% |
| 変速機 | 53,781 | 15,138 | 68,919 | 56,470 | 15,895 | 72,365 | 105.0% | 105.0% | 105.0% | 59,294 | 17,485 | 76,779 | 105.0% | 110.0% | 106.1% |
| 金属加工機械 | 112,826 | 80,801 | 193,627 | 90,261 | 113,121 | 203,382 | 80.0% | 140.0% | 105.0% | 94,774 | 113,122 | 207,896 | 105.0% | 100.0% | 102.2% |
| その他 | 624,204 | 165,682 | 789,886 | 639,809 | 182,250 | 822,059 | 102.5% | 110.0% | 104.1% | 655,805 | 191,363 | 847,168 | 102.5% | 105.0% | 103.1% |
| 合計 | 3,363,321 | 2,721,324 | 6,084,645 | 3,512,082 | 2,643,336 | 6,155,418 | 104.4% | 97.1% | 101.2% | 3,583,291 | 2,708,054 | 6,291,345 | 102.0% | 102.4% | 102.2% |

社団法人日本産業機械工業会 自主統計ベース

注1) 化学機械の中にパルプ・製紙機械、冷凍機械、大気汚染防止装置、水質汚濁防止装置を含む。

2) 金属加工機械: 製鉄機械及びプレス

3) その他: ゴミ処理装置、業務用洗濯機、メカニカルシール等

各機種の見込み及び見通しは、単位未満四捨五入している。その値の合計値は一致しないことがある。

(ご参考) 平成19年度 産業機械機種別生産額見通し

社団法人日本産業機械工業会
(単位 金額:百万円 比率:%)

| 機種 \ 年度 | 平成17年度実績 | 対前年度比 | 平成18年度見込み | 対前年度比 | 平成19年度見通し | 対前年度比 |
|------------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|--------|
| ボイラ・原動機 | 478,902 | 97.0% | 526,793 | 110.0% | 566,302 | 107.5% |
| 鉱山機械 | 23,125 | 77.9% | 26,594 | 115.0% | 26,594 | 100.0% |
| 化学機械 | 251,096 | 124.9% | 188,322 | 75.0% | 193,030 | 102.5% |
| パルプ・製紙機械 | 10,373 | 93.0% | 6,224 | 60.0% | 6,380 | 102.5% |
| タンク | 44,778 | 333.5% | 31,345 | 70.0% | 32,912 | 105.0% |
| プラスチック加工機械 | 244,947 | 101.7% | 257,195 | 105.0% | 244,335 | 95.0% |
| 風水力機械 | 428,161 | 102.5% | 449,570 | 105.0% | 460,809 | 102.5% |
| 運搬機械 | 630,692 | 110.4% | 693,762 | 110.0% | 728,450 | 105.0% |
| 変速機 | 218,229 | 114.2% | 223,685 | 102.5% | 234,869 | 105.0% |
| 金属加工機械 | 18,796 | 76.5% | 12,218 | 65.0% | 12,829 | 105.0% |
| 業務用洗濯機 | 10,348 | 115.5% | 13,194 | 127.5% | 13,854 | 105.0% |
| 合計 | 2,359,447 | 107.1% | 2,428,902 | 102.9% | 2,520,365 | 103.8% |

- 1 この生産額見通しは「経済産業省生産動態統計機械統計」の生産実績から、「平成19年度産業機械の受注見通し」を元に推計したものである。
- 2 各機種の実績は単位未満四捨五入している。その値の合計金額は一致しないことがある。